

# 苫前地区たこいさり漁業資源管理打合せ (R1. 8. 26)

稚内水試資料  
大15kg 6kg  
小20kg 4kg  
P-12kg. best Price F73  
15kg以上は取り出し  
Ed. 10/11  
1/12/11

## 管理目標

- ・ 目標管理基準：目標（理想）とする資源と漁獲量の水準。我が国ではこれを最大持続生産量（MSY）とすることが法律に明記された。
- ・ 限界管理基準：漁獲を制御して資源量の回復を促すべき水準（例えばMSYの60%など）
- ・ 禁漁水準：資源が不可逆的な水準まで低下するのを回避するため禁漁する水準（例えばMSYの10%など）

## 漁獲制御ルール (HCR: Harvest Control Rule)

上記の管理目標をクリアするための漁獲制限のルール

一般的には、一つの系群に対して資源動態を数理モデルで表して、それに基づいて管理目標を設定し漁獲制御ルールを決めるものであるため、“苫前地区のたこいさり漁業”のように一系群のなかの一部の海域・漁業に対して準用する場合には考え方が難しくなる。例えば、苫前いさり漁業が何らかのHCRを定め漁獲を制御しても、その効果が苫前地区に対して直接的に現れない、といったことがある。

## 今回の取り組みでの考え方

苫前地区いさり漁業での暫定的な管理目標と漁獲制御ルールを定め、これに率先して取り組み進めることで、いずれ管内全体のミズダコ資源管理にインセンティブを与えていくようなイメージ。

## 苫前たこいさり漁業への水試の提案する暫定管理目標案

- 1. 管理目標**：苫前地区におけるミズダコ資源水準を2003年以降の最低水準より高く保つことで、将来にわたり安定した漁獲収入を得ていく。※水試でこれまで北るもい漁協から提供を受け管理している苫前地区の漁獲データが2003年以降（裏面の図参照）
- 2. 漁獲制御ルール**：ある年において、その前年の重量CPUE（一日・一隻あたりの平均漁獲重量）が80kgを下回る低水準となり、さらに当該年5月までの尾数CPUEが前年同期を大きく下回った場合に、6月以降の漁獲制限を行い、資源や親ダコの取り残しを確保する。  
尾数CPUEの前年比の程度に応じて、6月以降①一隻あたりの漁具数（タル数）を削減もしくは出漁日数を制限、②10kg以上の雌ダコの海中還元、③6月以降の早期切り上げ（禁漁）等の措置を部会で検討し、自主規制として適宜実施する。なお、この時には苫前地区のたこ箱漁業に対しても同様の措置の協力を要請し実践することが望ましい。

No  
苫前地区  
運送  
100kg  
利権  
岩  
かき

1ル制? (TAC)  
目標に水試  
目標と同一値段 (入札引ける)  
差別化

worst above point (PR2)

日  
出漁  
100kg  
100kg  
100kg

漁期後半

産卵33止

同じ年と比べて

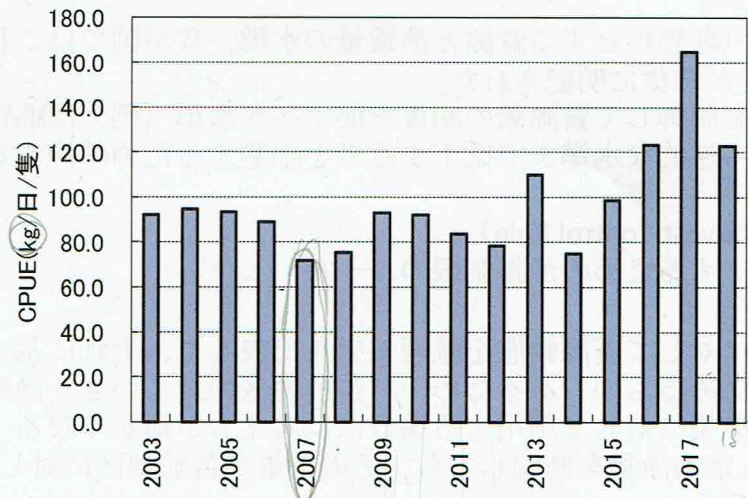
部会

7月  
15d real Blm?  
CPUE F73の20%

3月  
10/9

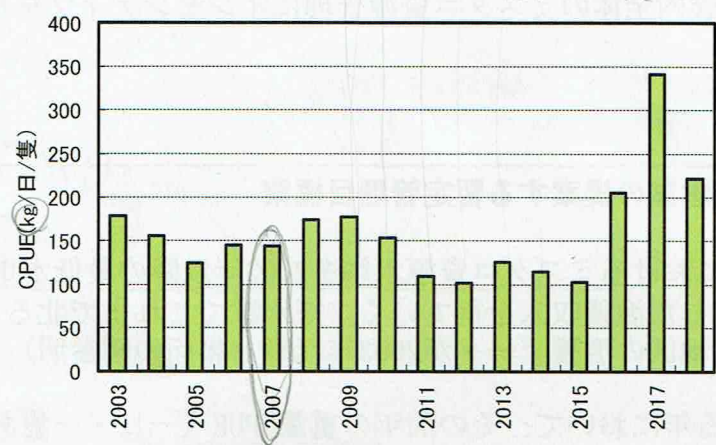
(参考図)

苫前、たこいさりCPUEの経年変化



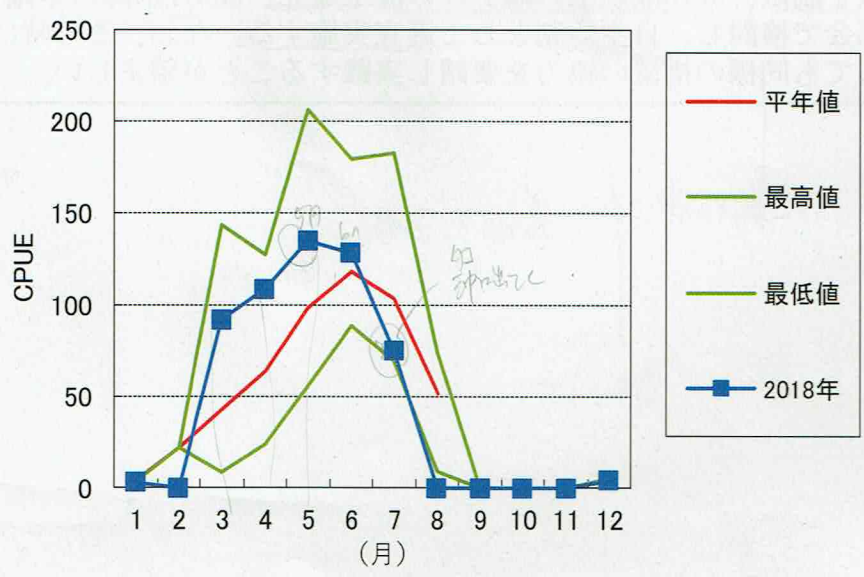
18 19 20  
先取  
11月 → 箱  
後取  
12月

苫前、たこ函CPUEの経年変化



(2018年 10月 時点)

苫前、たこいさりCPUEの季節変化



10月 11月